



令和3年7月15日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部  
総務広報課長

(株)新興出版社啓林館寄附講座による「外国人 ICT 技術者人材育成プログラム(B-JET)」  
開講記念シンポジウムの開催について(ご案内)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究・社会貢献活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、宮崎大学は株式会社新興出版社啓林館のご寄附により、「外国人 ICT 技術者人材育成学講座」を本年4月に設置いたしました。また、去る3月には、「宮崎-バングラデシュ・モデル」の現地事業である JICA 技術協力事業「Bangladesh-Japan ICT Engineers' Training Program: B-JET」を現地協定校の Nouth South University: NSU と承継いたしました。これを受けて、同寄附講座が運営を担う「外国人 ICT 技術者人材育成プログラム(通称:B-JET)」を本年秋より、宮崎大学の履修証明プログラムとして NSU の協力によりバングラデシュで開講する運びとなりました。これに先立ち、開講記念キックオフ・シンポジウムを下記のとおり開催したく存じます。については、下記の日程でキックオフ・シンポジウムを行うこととなりましたので、取材についてご検討いただければ幸いです。

敬 具

### 記

- |          |  |
|----------|--|
| 1. 名 称   | 株式会社新興出版社啓林館寄附講座による「外国人 ICT 技術者人材育成プログラム(B-JET)」開講記念シンポジウム |
| 2. 日 時   | 2021年7月31日(土) 14:00～17:00                                  |
| 3. 場 所   | 宮崎大学附属図書館3階 hidamari 及び Zoom                               |
| 4. 主 催   | 国立大学法人宮崎大学   |
| 後 援      | 宮崎市、宮崎県、宮崎商工会議所、宮崎バングラデシュ協会                                |
| 5. 式 次 第 | 別紙参照   |

以上

①お問い合わせ先

国際連携センター 准教授 伊藤 健一

TEL:0985-58-7851

E-mail:[itoken@cc.miyazaki-u.ac.jp](mailto:itoken@cc.miyazaki-u.ac.jp)

②発信元

企画総務部総務広報課広報係

TEL:0985-58-7114

FAX:0985-58-2818

別紙

1. 開催趣旨

本キックオフ・シンポジウムではB-JETについて広く周知し、様々な関係者の今後の展望や期待を共有します。関心ある方々とのネットワークを広げてこのプログラムを推進すべく、キックオフシンポジウムを開催致します。

2. 式次第(一部変更の可能性あり)

第1部：開講セレモニー（英語） 1st session: Opening Ceremony (in English)	
Open/開会	司会/和田 恵
Opening Address/開会の辞	宮崎大学長 池ノ上 克
Greeting from Donor/寄附者挨拶	株式会社新興出版社啓林館 代表取締役専務 北川 賀世子
Greeting on Behalf of the B-JET Certified Organizations/B-JET受託事業者代表挨拶	ノースサウス大学 キャリア開発センター長/人材開発部 教授/ Bangladesh 人材開発専門家協会設立会長 モハンマド キャスロ ミア
Complimentary Address/祝辞	在日 Bangladesh 人民共和国大使館 経済公使 ソヨッド ナシル エルシャド Bangladesh コンピュータ評議会 総局長 Bangladesh 政府 次官補 パルタブラティム デブ 同席 1. Bangladesh コンピュータ評議会 研修・人材開発部 部長 モハンマド エナムル カビル 2. Bangladesh コンピュータ評議会 日本市場向けICT技術者能力開発プロジェクト プロジェクトディレクター モハンマド ゴラム サルワル 独立行政法人国際協力機構 九州センター 所長 吉成 安恵
Keynote Speech/基調講演	宮崎大学国際連携センター外国人ICT技術者人材成学講座 特別教授 田阪 真之介
第2部：シンポジウム「宮崎-Bangladesh『モデル』から『スタイル』～地方におけるこれからの多文化共生と経済発展～」(日本語) 2nd session: Symposium for future B-JET ~from " Model" to "Style" for multiculturalism and economic growth~ (in Japanese)	
Open/開会	司会/和田 恵
Opening Address for Symposium/第2部開会の挨拶	宮崎市長 戸敷 正
Voice from Miyazaki/宮崎における期待	宮崎県 副知事 永山 寛理
Future Miyazaki/宮崎のこれからについて	宮崎商工会議所 会頭 米良 充典
Voice from Bangladeshi in Miyazaki/宮崎在住 Bangladesh 人の声	宮崎市在住のB-JET修了生: ハジェラ マルジア/1期、ホサイン モハンマド ラモザン/2期、サードマン シャヒッド チョウドリー/5期生 司会進行： 宮崎大学国際連携センター 准教授 伊藤 健一 株式会社教育情報サービス 代表取締役 荻野 次信 BJIT Ltd.創設者、代表取締役CEO/株式会社BJIT 代表取締役会長 ジェエム アクバル
Public Talk/トークセッション（座談会）	宮崎市 観光商工部 部長 松田 智之 宮崎市ICT企業連絡協議会 会長 岡田 憲明 BJIT Group 株式会社BJIT 取締役副社長 明石 康弘 株式会社新興出版社啓林館 常務取締役 本間 文勝 司会進行： 宮崎大学国際連携センター 准教授 伊藤 健一
Closing Address/閉会の辞	宮崎大学 副学長（国際連携） 村上 啓介

## <参考資料>

### ■本学の B-JET に関する取り組み

B-JET は 2017 年 11 月から 2020 年 10 月まで実施した第 1 フェーズと、今回キックオフを行う 2021 年 2 月に採択された第 2 フェーズに分かれます。

2017 年から行われた第 1 フェーズでは、本学はバングラデシュで行われていた JICA 技術協力プロジェクト「日本市場をターゲットとした ICT 人材育成プロジェクト (Bangladesh-Japan ICT Engineers' Training Program: B-JET)」の企画段階から参画し、2017 年 11 月から 2020 年 10 月まで日本語教師を派遣しました。また、宮崎市と連携し、「日本語×IT インターンシッププログラム (Japanese × IT Internship Program: JIP)」で B-JET 修了生を受け入れ、企業でのインターンシップと日本語教育を提供しました。

第 2 フェーズでは上述の B-JET の後継事業者として、本学及び North South University (NSU)、(株)B&M、BJIT Group、(株)新興出版社啓林館と連携して申請し、採択されました。B-JET の実績・手法を承継し、JIP と統合した、二国に跨る履修証明プログラムを(株)新興出版社啓林館の寄附講座を運営基盤として実施します。なお既に本学と NSU は「Memorandum of Understanding of Educational Cooperation」に基づき、B-JET 実施に関して、「Agreement for a Cooperative Career Development and Training Program」を締結しています。

### ■これまでの実績

第 1 フェーズの B-JET では 2017 年 11 月から 2020 年 10 月までの 8 期間で 265 名が修了しましたが、このうち 57 名が本学での JIP に参加しました。さらにこのうち 50 名は宮崎県内に就職し、受入企業は延べ 24 社となりました。この人数は日本に就職した 186 人のうち東京都に就職した人数に次いで、全国で 2 番目に多い数となっており、特色ある取り組みとして注目を集めています。

### ■今後のプログラムの特色

今回採択されたプログラムでは、「バングラデシュと宮崎の社会課題や可能性に挑戦する人や組織を創る」ことをミッションとして掲げ、第 1 フェーズの B-JET からさらに内容を充実させるため、上述のとおり履修証明制度を採り入れます。

履修証明制度とは、大学等が社会人等の学生以外の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム(履修証明プログラム)を開設し、修了者に対して法に基づく履修証明書(Certificate)を交付できることとした制度です。各種資格の取得と結び付けて開講し、例えば、宮崎大学では他に、日本語教育の資格要件の一つである文化庁届出の「日本語教員養成研修」を社会人・学生向けに開講しています。

# 外国人ICT技術者人材育成プログラム

## キックオフ・シンポジウム

### 株式会社新興出版社啓林館 寄附講座 開講記念

宮崎大学は株式会社新興出版社啓林館のご寄附により、「外国人ICT技術者人材育成学講座」を本年4月に設置いたしました。また、去る3月には、「宮崎-バンングラデシュ・モデル」の現地事業であるJICA技術協力事業「Bangladesh-Japan ICT Engineers' Training Program: B-JET」を現地協定校のNorth South University: NSUと承継いたしました。これを受けて、同寄附講座が運営を担う「外国人ICT技術者人材育成プログラム(通称: B-JET)」を本年秋より、宮崎大学の履修証明プログラムとしてNSUの協力によりバンングラデシュで開講する運びとなりました。これに先立ち、開講セレモニー及び、地方におけるこれからの多文化共生と経済発展を考えるシンポジウムを開催いたします。

# 2021.7.31 ± 14:00 ▶ 17:00

宮崎大学附属図書館3階 hidamari

+完全オンライン配信

使用言語  
英語

## 第1部 開講セレモニー

開会の辞	池ノ上 克	宮崎大学長
寄附者挨拶	北川 賀世子	株式会社新興出版社啓林館 代表取締役専務
B-JET受託事業者代表挨拶	モハンマド キャスロ ミア	ノースサウス大学 キャリア開発センター長
祝辞	ソヨッド ナシール エルシャド	在日バンングラデシュ人民共和国大使館 経済公使
	バルタプラティム デブ	バンングラデシュ・コンピュータ評議会 総局長
	吉成 安恵	独立行政法人国際協力機構 九州センター 所長
基調講演	田阪 真之介	宮崎大学国際連携センター-外国人ICT技術者人材育成学講座 特別教授

使用言語  
日本語

## 第2部 シンポジウム

### 宮崎-バンングラデシュ「モデル」から「スタイル」 ～地方におけるこれからの多文化共生と経済発展～

第2部開会の挨拶	戸敷 正	宮崎市長
宮崎における期待	永山 寛理	宮崎県 副知事
宮崎のこれからのについて	米良 充典	宮崎商工会議所 会頭
宮崎在住バンングラデシュ人の声	ハジェラ マルジア	宮崎で働くバンングラデシュICT技術者
	ホサイン モハマッド ラモザン サードマン シャヒッド チョウドリー	
トークセッション (座談会)	荻野 次信	株式会社教育情報サービス 代表取締役
	ジェム アクバル	BJIT Ltd.創設者、代表取締役CEO 株式会社BJIT 代表取締役会長
	松田 智之	宮崎市 観光商工部 部長
	岡田 憲明	宮崎市ICT企業連絡協議会 会長
	明石 康弘	BJIT Group 株式会社BJIT 取締役副社長
	本間 文勝	株式会社新興出版社啓林館 常務取締役
	司会進行: 伊藤 健一	司会進行: 宮崎大学国際連携センター
閉会の辞	村上 啓介	宮崎大学 副学長 (国際連携)

参加申込フォーム <https://forms.gle/CNEaiPCgKphd3g7d8>

主催 国立大学法人宮崎大学  
後援 宮崎市、宮崎県、宮崎商工会議所、宮崎バンングラデシュ協会







Bangladesh-Japan ICT Engineers' Training Program

# 外国人ICT技術者人材育成プログラム キックオフ・シンポジウム

株式会社新興出版社啓林館 寄附講座 開講記念



- 参考資料 -

## 本学のB-JETに関する取り組み

B-JETは2017年11月から2020年10月まで実施した第1フェーズと、今回キックオフを行う2021年2月に採択された第2フェーズに分かれます。

2017年から行われた第1フェーズでは、本学はバングラデシュで行われていたJICA技術協力プロジェクト「日本市場をターゲットとしたICT人材育成プロジェクト（Bangladesh-Japan ICT Engineers' Training Program：B-JET）」の企画段階から参画し、2017年11月から2020年10月まで日本語教師を派遣しました。また、宮崎市と連携し、「日本語×ITインターンシッププログラム（Japanese×IT Internship Program：JIP）」でB-JET修了生を受け入れ、企業でのインターンシップと日本語教育を提供しました。

第2フェーズでは上述のB-JETの後継事業者として、本学及びNorth South University（NSU）、（株）B&M、BJIT Group、（株）新興出版社啓林館と連携して申請し、採択されました。B-JETの実績・手法を承継し、JIPと統合した、二国に跨る履修証明プログラムを（株）新興出版社啓林館の寄附講座を運営基盤として実施します。

なお既に本学とNSUは「Memorandum of Understanding of Educational Cooperation」に基づき、B-JET実施に関して、「an agreement for a Cooperative Career Development and Training Program」を締結しています。

## これまでの実績

第1フェーズのB-JETでは2017年11月から2020年10月までの8期間で265名が修了しましたが、このうち57名が本学でのJIPに参加しました。さらにこのうち50名は宮崎県内に就職し、受入企業は延べ24社となりました。この人数は日本に就職した186人のうち東京都に就職した人数に次いで、全国で2番目に多い数となっており、特色ある取り組みとして注目を集めています。

## 今後のプログラムの特色

今回採択されたプログラムでは、「バングラデシュと宮崎の社会課題や可能性に挑戦する人や組織を創る」ことをミッションとして掲げ、第1フェーズのB-JETからさらに内容を充実させるため、上述のとおり履修証明制度を採り入れます。

履修証明制度とは、大学等が社会人等の学生以外の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）を開設し、修了者に対して法に基づく履修証明書（Certificate）を交付できることとした制度です。各種資格の取得と結び付けて開講し、例えば、宮崎大学では他に、日本語教育の資格要件の一つである文化庁届出の「日本語教員養成研修」を社会人・学生向けに開講しています。